

経営比較分析表（令和6年度決算）

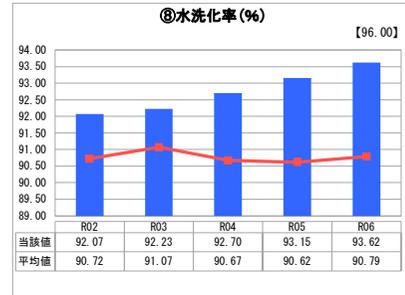
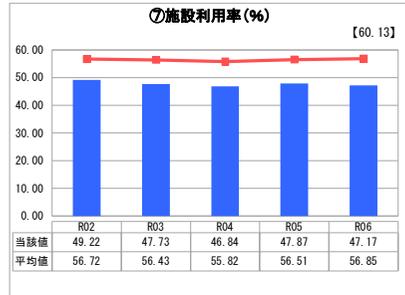
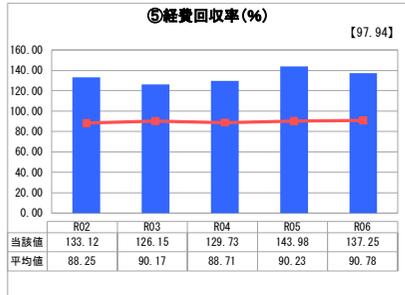
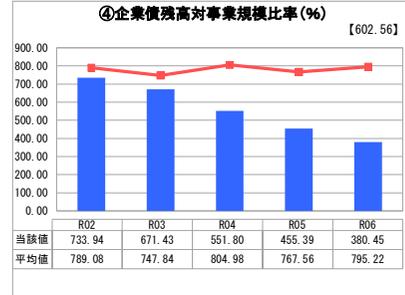
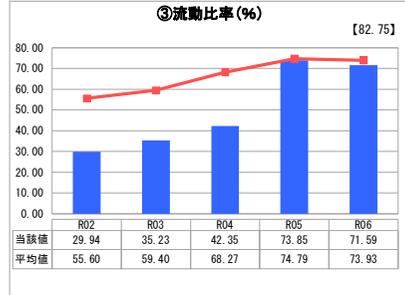
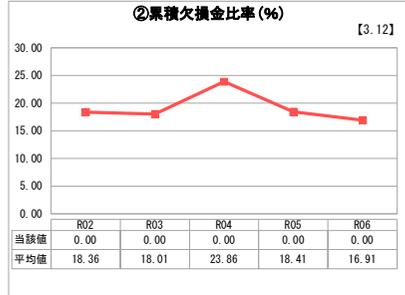
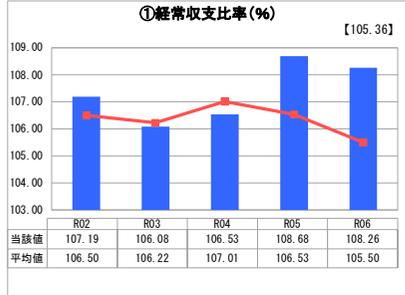
熊本県 長洲町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cc1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	68.49	96.39	91.40	3,517

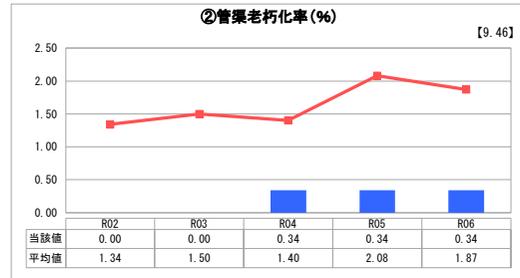
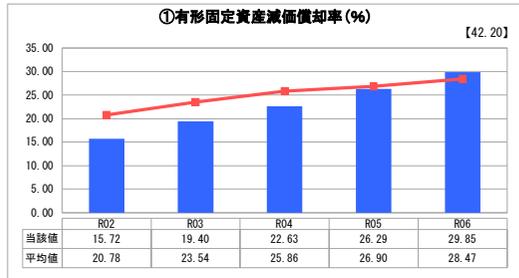
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
15,220	19.44	782.92
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
14,612	5.23	2,793.88

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
[] 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- 類似団体平均と比較しても高い値を保ち、健全経営の水準とされる100%を上回る数値で推移しており、健全な経営状態と言えます。
- 流動比率は前年度大幅に増加しておりますが、増加要因は事業の繰り越しに伴う繰越財源(現金)を収入したことによるものであり、繰越事業の完了とともに現金の支出を行うため、今後も事業の完了に伴って一時的に減少する可能性があります。長期的には企業償還の進捗により増加の見込みです。
- 類似団体平均より低い数値ではありますが、今後も施設の改築更新事業に伴う借入れが必要になるため、ストックマネジメント計画や経営戦略等を基に、必要な更新を適切な借入れをもって進めていきます。
- 類似団体平均より高い水準を維持し、汚水処理にかかる費用使用料で賄えている状況となっております。
- 類似団体平均より低い数値で推移しておりますが、今後、施設の老朽化に伴う更新や、物価上昇による経費の増加が想定されるのに対し、人口減少や節水家電の普及に伴う使用水量の減少が見込まれるため、汚水処理原価の上昇が懸念されます。適切な更新工事を進めながら、維持管理費の削減に努める必要があります。
- 類似団体平均を下回っており、今後も人口減少等に伴い汚水処理水量の減少が見込まれ、施設利用率の低下が懸念されます。広域化等の検討が必要であると考えます。
- 人口減少などによる使用料収入の減少が見込まれるため、今後も下水道への接続勧奨を行い使用料収入の確保に努めます。

2. 老朽化の状況について

- 有形固定資産減価償却率は29.85%となり類似団体平均値よりやや高い水準となります。ストックマネジメント計画に基づき、計画的かつ効率的な施設の改築更新に努めます。
- 当町で布設した管渠に法定耐用年数を経過した管渠はありませんが、開発行為等で民間が布設し、寄付に伴い町で管理している管渠に法定耐用年数を超えた管渠があります。管路についても、ストックマネジメント計画に基づき、適正な維持管理に努めます。
- 類似団体平均を下回っておりますが、管路ストックマネジメント計画に基づき、計画的かつ効率的に修繕、改築、更新を進めていきます。

全体総括

供用開始から40年近くが経過し、今後、老朽化施設の改築更新費用の増加や、近年の物価高騰による維持管理費の増加が想定されることに対し、下水道使用料については人口減少等による減収が見込まれ、下水道事業の経営環境はより厳しい状況となること懸念されます。このような状況において、安定的なサービスの提供を継続するために、経営戦略やストックマネジメント計画に基づき、効率的な事業執行に努めます。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。